

| 分野             | 授業教目名    | 単元名                                | 単位数 | 時間数  | 履修時期  | 担当教師          |
|----------------|----------|------------------------------------|-----|------|-------|---------------|
| 専門分野Ⅱ<br>成人看護学 | 成人臨床看護論Ⅲ | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>脳・神経機能障害をもつ患者の看護 | 1単位 | 30時間 | 2年次後期 | 看護係長<br>吉岡由里香 |

|                |  |
|----------------|--|
| テキスト(発行所)      | 系統看護学講座専門分野Ⅱ運動器成人看護学[10](医学書院)<br>系統看護学講座専門分野Ⅱ脳・神経成人看護学[7](医学書院) |
| テキスト以外の教材、参考図書 | なし   |

|        |   |
|--------|---|
| 学習のねらい | 運動機能障害、脳・神経機能障害が日常生活に及ぼす影響を理解し、各機能障害をもつ患者の看護を実践するための基礎的な知識・技術・態度を習得する。  |
| 学習目標   | 1. 各機能障害が生活に与える影響を理解することができる。<br>2. 各機能の検査時の看護を理解することができる。<br>3. 各機能障害に行われる治療に伴う看護を理解することができる。<br>4. 各機能障害の経過に応じた看護を理解することができる。<br>5. 各機能障害をもつ患者の苦痛を理解することができる。 |

### 学習スケジュール

| 回数          | 主題                                      | 学習内容  | 履修形態他 |
|-------------|---|---|-------|
| 1回<br>(45分) | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>日常生活への影響と看護の役割        | 1. 運動機能障害とは<br>2. 運動機能障害による日常生活への影響と看護の役割               | 看護係長  |
| 2回          | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>検査・治療を受ける患者の看護        | 1. ミエログラフィ時の看護<br>2. ギプス固定を受ける患者の看護<br>3. 牽引療法を受ける患者の看護 | 看護係長  |
| 3回          | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>治療に伴う看護技術             | 1. 包帯法  | 吉岡由里香 |
| 4回          | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>治療を受ける患者の看護(手術療法・股関節) | 1. 人工股関節置換術を受ける患者の看護<br>2. 体動制限に伴う生活の援助                 | 看護係長  |
| 5回          | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>治療を受ける患者の看護           | 1. 骨粗鬆症<br>2. 関節リウマチ患者の看護                               | 看護係長  |
| 6回          | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>治療を受ける患者の看護(手術療法・膝関節) | 1. 人工膝関節置換術を受ける患者の看護<br>2. セルフケア拡大に向けた援助                | 看護係長  |
| 7回          | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>機能障害をもちながら生活する人の看護①   | 1. 脊椎疾患・損傷の患者の看護<br>2. 障害受容                             | 看護係長  |
| 8回          | 運動機能障害をもつ患者の看護<br>機能障害をもちながら生活する人の看護②   | 1. 四肢切断術を受ける患者の看護<br>2. 四肢切断後の生活の援助                     | 看護係長  |
| 9回<br>(45分) | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>日常生活への影響と看護の役割      | 1. 脳・神経障害とは<br>2. 脳・神経障害による日常生活への影響と看護の役割               | 看護係長  |
| 10回         | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>検査・治療を受ける患者の看護      | 1. 髄液検査時の看護<br>2. 脳血管撮影時の看護<br>3. 意識・麻痺レベルの観察方法         | 看護係長  |
| 11回         | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>治療を受ける患者の看護(手術療法)①  | 1. 脳出血患者の看護<br>2. 脳動脈瘤・クモ膜下出血患者の看護<br>3. 生活の援助          | 看護係長  |
| 12回         | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>治療を受ける患者の看護(手術療法)②  | 1. 脳腫瘍摘出術を受ける患者の看護<br>2. 脳室-腹腔(V-P)シャント術                | 看護係長  |

| 回数  | 主題                                    | 学習内容   | 履修形態他 |
|-----|---------------------------------------|--|-------|
| 13回 | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>症状に合わせた看護①        | 1. 運動麻痺のある患者の看護<br>2. 脳梗塞患者の看護<br>3. 生活の支援                                   | 看護係長  |
| 14回 | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>症状に合わせた看護②        | 1. 嚥下障害のある患者の看護  | 認定看護師 |
| 15回 | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>症状に合わせた看護③        | 1. 言語障害のある患者の看護<br>2. 失行・失認のある患者の看護<br>3. 高次脳機能障害をもつ患者の看護<br>4. 退院後の生活に向けた看護 | 看護係長  |
| 16回 | 脳・神経機能障害をもつ患者の看護<br>治療を受ける患者の看護(薬物療法) | 1. ドーパミン補充療法時の看護<br>2. 再発を予防するための看護  | 看護係長  |

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>単位認定の方法</b>   | <p>1. 出席について:30時間のうち24時間以上の出席があること</p> <p>2. 評価<br/>筆記試験 100点<br/>上記の筆記試験で合計60点以上の得点があること。</p> <p>3. 1と2の要件が両方満たされ、成人臨床看護論Ⅲ1単位の認定とする。</p>   |
| <b>受講上のアドバイス</b> | <p>運動機能障害・脳神経機能障害は、急性期には生体に侵襲が加わるため生命の維持に関わることもあります。早期に治療を行っても完全治癒は難しく機能障害を残すことが多いですが、急性期からの機能訓練がその後の患者のQOLを左右します。したがって、この科目では急性期から機能訓練を意識した看護を学ぶと共に、機能障害が日常生活にどのような影響を及ぼすかを理解し、患者さんへの看護を考えていってもらいたいと思います。そのために、解剖生理や専門基礎分野で学習した機能障害の知識と共に、専門分野 I で学習した日常生活援助技術を復習して講義に臨んでください。</p> |